

平成 26 年度 3 R 推進功労者等表彰
内閣総理大臣賞及び経済産業大臣賞の概要

内閣総理大臣賞の概要

宝酒造株式会社（京都府京都市）

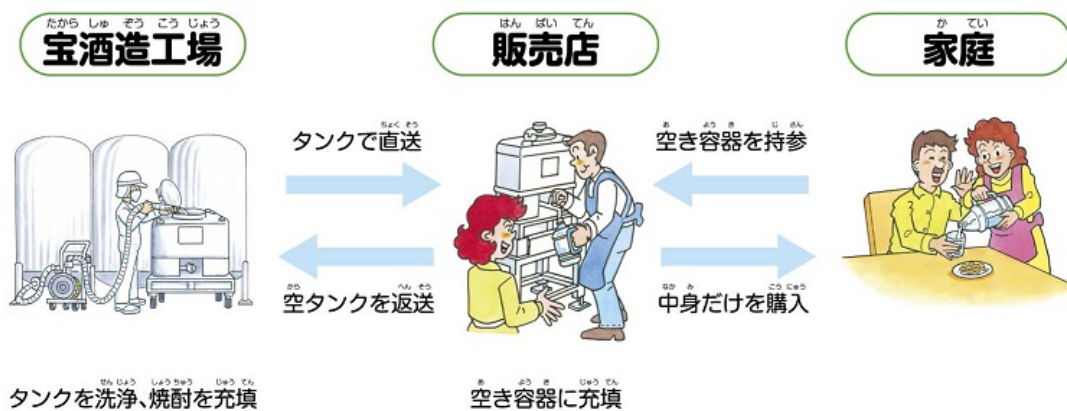
「容器の 3 R にリフューズ(Refuse: 発生回避)を加えた 4 R の取り組みの推進」

（受賞理由）

同社では、焼酎や清酒、チューハイ、本みりんなどを製造し、ガラスびんやペットボトル、アルミ缶、紙パックなど様々な容器に充填して販売。これらの商品の中身が消費されたあとに発生する空容器が社会に大きな環境負荷を与えていることから、空容器問題への取り組みを自然環境保護と並ぶ環境活動の 2 本柱と位置付け、長年にわたり取組を継続。また、商品開発では、リデュース、リユース、リサイクルの 3 R に、同社独自の取り組みとして、余分な物(容器)をつけず必要な物(中身)だけを販売するリフューズを加えた 4 R の取り組みを「環境に配慮した商品開発のための指針」に基づき推進。はかり売りについては、1998 年の開始以来 2014 年 3 月末迄に、2.7L ペットボトル換算で約 752 万本と段ボール約 188 万枚相当を削減。

長年にわたる各種の実績や率先して実施してきた各種取組を高く評価し、内閣総理大臣賞に相当するものと決定。

（はかり売りのフロー）



経済産業大臣賞（2件）の概要

1. フジ化成工業株式会社（鳥取県米子市）

「磁気テープ端材、自動車用ゴム部品端材のリサイクル及び工場から発生する廃棄物の削減」

（受賞理由）

同社では、磁気テープメーカーで発生する端材を原料とした建築資材の製品化に成功。また、自動車ゴム部品メーカーで発生する端材を原料として、防音床マットを製造するなど廃材を原料とした商品の開発に継続的に取り組み、リサイクルを実用化に結びつけ事業化。その後も継続的に技術開発を進め、他社と共同したリサイクル製品の事業化を推進。

中小企業が、その機動性を活かし独創性あるリサイクル技術を複数開発し、実際に事業化して継続的にリサイクルを推進しており、経済産業大臣賞に相当するものと決定。

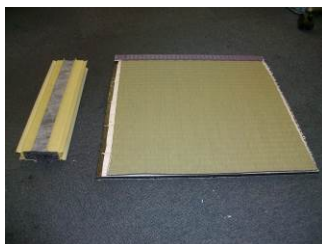
（原料となる端材と端材由来の製品）



原料
（磁気テープ端材）



原料
（自動車用ゴム部品端材）



用途：耐震スリット、
エコ畳等の芯材



用途：防音床マット、
車用制振材、
防音材等

2. 住友電気工業株式会社（大阪府大阪市） 「グローバル3R活動の推進」

（受賞理由）

同社では、以前から省資源リサイクル活動に取り組んできたが、分社化や海外展開により事業拠点が広がり、グループ全体としての活動推進が必要になってきたため、2003年度より「アクションECO-21」という名称の、地球温暖化防止、省資源、リサイクル推進などを旨とした、海外拠点を含むグループ会社全体に対する定量的な目標を掲げ、その中で3R推進の取組を推進。

3Rの取組の継続により、取組開始前と比較して約1,500トン/月の廃棄物量を削減するとともに、単純にサーマルリサイクルやセメント原料にリサイクルされていたもののうち、成分などから金属原料等として使える物について、引取先を開拓、有価物化するリサイクルへの転換を推進。また、従業員向けの教育も積極的に実施。

3R活動に、海外拠点を含めたグループ全体で取り組む姿勢について、グローバル展開する他の大企業の模範的效果、及び、海外拠点においてリサイクルを推進することにより、我が国リサイクル企業の海外進出の機会の増加が期待できることを高く評価し、経済産業大臣賞に相当するものと決定。

（目標設定値と実績）

		活動前	I期 2003～04年度	II期 2005～07年度	III期 2008～09年度	IV期 2010～12年度	V期 2013～14年度
ゼロエミ率	目標	—	1%以下	1%以下	1%以下	0.5%以下	0.3%以下
	実績	31.9% (2002年度)	5.9%	2.9%	1.0%	0.1%	0.1%
廃棄物削減	目標	—	—	04年度比 原単位 10%削減		09年度比 原単位 3%削減	12年度比 2%削減
	実績	—	—	17%		5%	5%
ゼロエミ率海外	目標	—	—	—	—	5%以下	5%以下
	実績	31.3% (2009年度)	—	—	—	14%	11%
梱包材	目標	—	01年度比 原単位 12%削減	04年度比 原単位 2%削減	—	—	—
	実績	—	14%	12%	—	—	—